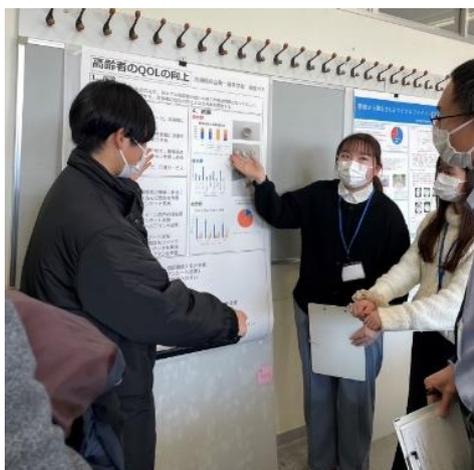


2 月 5 日 (日) に東京都立戸山高等学校で開催された「第 11 回生徒研究成果合同発表会 (The 11th Toyama Science Symposium)」に仙台一高より 2 年生 23 人が参加し、これまでの研究成果を発表しました。その他にも、全国の SSH 指定校や理数研究を行う高校が集まり、非常に幅広い分野における専門的な研究の成果を発表していました。発表をした 8 ゼミのうちから代表で、物理ゼミ、音楽ゼミ、家庭ゼミの先輩方に発表、研究活動の感想と後輩へのアドバイスをお聞きしました。

◦発表の様子

家庭科ゼミ



家庭科ゼミ

他校の発表のレベルの高さや着眼点に驚かされることが多かったです。発表を経て、研究を、そして自分自身を成長させることができたと思います。また様々な興味深い研究があり、学術研究の面白さを改めて感じられました。

実験の過程で多くの先生方や高齢者の方々、施設の方々に協力していただきました。大変なことも多かったですが、学術研究を経験できて良かったと思います。

家庭科ゼミは途中でテーマを変更したので、スケジュールリングが上手くいかず、苦労しました。後輩の皆さんには、後々のためにも、予定をしっかりと立てて活動してほしいです。

音楽ゼミ

今までに参加した度の発表会よりも聴衆が多く、緊張しましたが、いつも通りの発表ができたと思います。辛いことも多かったですが、班員と協力して研究を進めるのが楽しかったです。後輩の皆さん、学術研究の発表はほぼ確実に定期考査、部活の大会の日程と近くなります。早めに研究を進めることをお勧めします。

音楽ゼミ



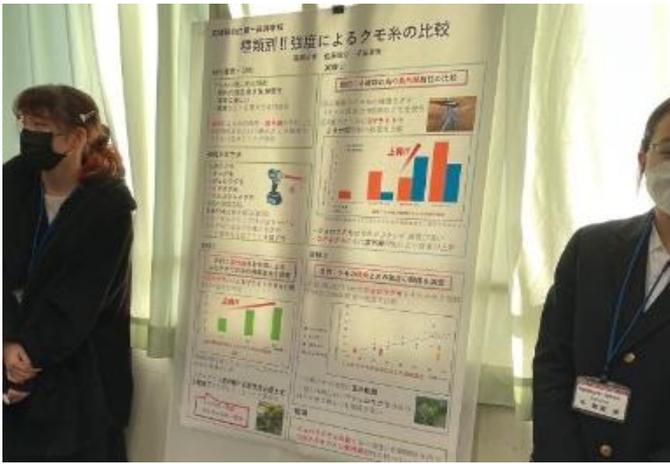
物理ゼミ



物理ゼミ

発表してみて、聴衆が他校の生徒や知らない先生方であったことで、質問の傾向が普段と異なるなど一高生を相手にした発表にはない新鮮味を味わうことができました。学術研究は運動などと違い努力に対して得られるものというのがある程度比例しているのいいところ。後輩の皆さんへのアドバイスとしては、避けられない面倒くさいことにどう向き合っていくかが大切だということを伝えたいです。また、Excel の使い方を習得しておくとも楽です。

生物ゼミ



化学ゼミ



公民ゼミ



数学ゼミ



◦ 見学した 77 回生の感想

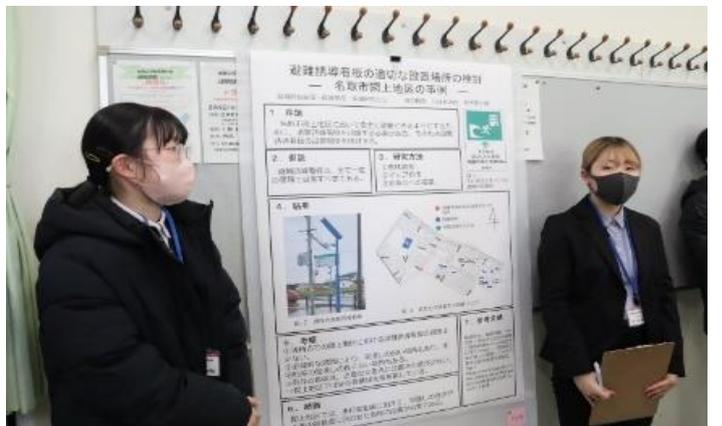
今回先輩方の発表や戸山高校をはじめとする他校の生徒さんの研究内容に触れる貴重な機会の中で、自分の考えを突き詰める姿勢や問題解決に取り組む意思が強く感じられ、多くの刺激を受けた1日となりました。

見学を通して、改めて自分の研究の足りない部分に気付くことができました。外部の高校の発表も、どれも研究への熱意を感じるものばかりでした。まだ課題研究は始まったばかりなので、これから少しずつ改善し、高校生のためになる研究成果をあげられたらと思います。

編集後記

普段と違う場においても素晴らしい発表をする先輩方の姿を目指し、私たちもよりいっそう課題研究に邁進していきたいと思えます。発表会の開催校である戸山高校の方々の運営のもと、とても貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。先輩方、おつかれさまでした！

災害研究ゼミ



タイの研究者も参加するグローバルな発表会であり、外国出身の方との英語での質疑応答や専門家を交えた専門性の高い質疑応答が活発に行われているなど、そのレベルの高さにとても刺激を受けました。

今回、さまざまな高校の生徒さんの発表を聞かせてもらい、自分の研究に向き合い、結果に向けて一生懸命に取り組む姿勢にとっても感銘を受けました。改めて私たちの研究の中で目的を明確にし、社会に貢献できる研究をしたいと思えました。